

官民協働による地域の観光情報化への取り組み
「青森県の観光クラウド」
(株式会社富士通東北システムズ)

〔概要〕

青森県では二次交通（車）による円滑な周遊を支援するルートガイドサービスを開発。地域共同利用型の観光クラウドとして、県内 20 団体で利用するとともに、公共の保有する観光情報を活用した官民協働での観光情報サービス創出に取り組んでいます。

〔コラム〕

2010 年 12 月、東北新幹線新青森駅が開業。青森県では観光による経済浮揚への期待が高まっており、官民による様々な観光への取り組みが行われています。

旅行者をお迎えするにあたり、特に二次交通を車に依存する本県においては、旅行者の車での円滑な周遊を支援する態勢や、埋もれた地域資源を浮上させ、青森県の知られていない魅力を発信していくことが求められています。

そこで当社では旅行者自身が手軽に車での周遊計画を作成できる「My ルートガイドサービス」を開発いたしました。(下図、特許出願中)

これは観光サイトから行きたい観光スポットを自由に選択し、選択された複数の観光スポットを自動で最適移動順序に並び替え、電子地図上に移動ルートを展開します。さらに車での走行時間や走行距離も自動計算されます。

また、移動ルート周辺に点在する埋もれた観光スポットを浮上させ、寄り道スポットの発見機会へとつなげています。

【車での自由な周遊計画をつくるMy ルートガイドサービス】



さらに My ルートガイドサービスでは、(社) 青森県観光連盟様との協働により県内すべての観光情報を集積しました。これにより広く県内の観光スポットも閲覧でき、それらをつなぐ県内広域周遊ルート計画をワンストップで実現できるようになりました。

当サービスは既存の観光サイトに簡単に組み込みができる地域共同利用型サービス(観光クラウド)として進化させ、現在、県内 20 団体の観光サイトでご利用いただいております。(下図)

また、前述の県内観光情報を活用して、レンタカー利用者向けに着地側でのモバイル観光情報サービスの提供にも取り組んでいます。

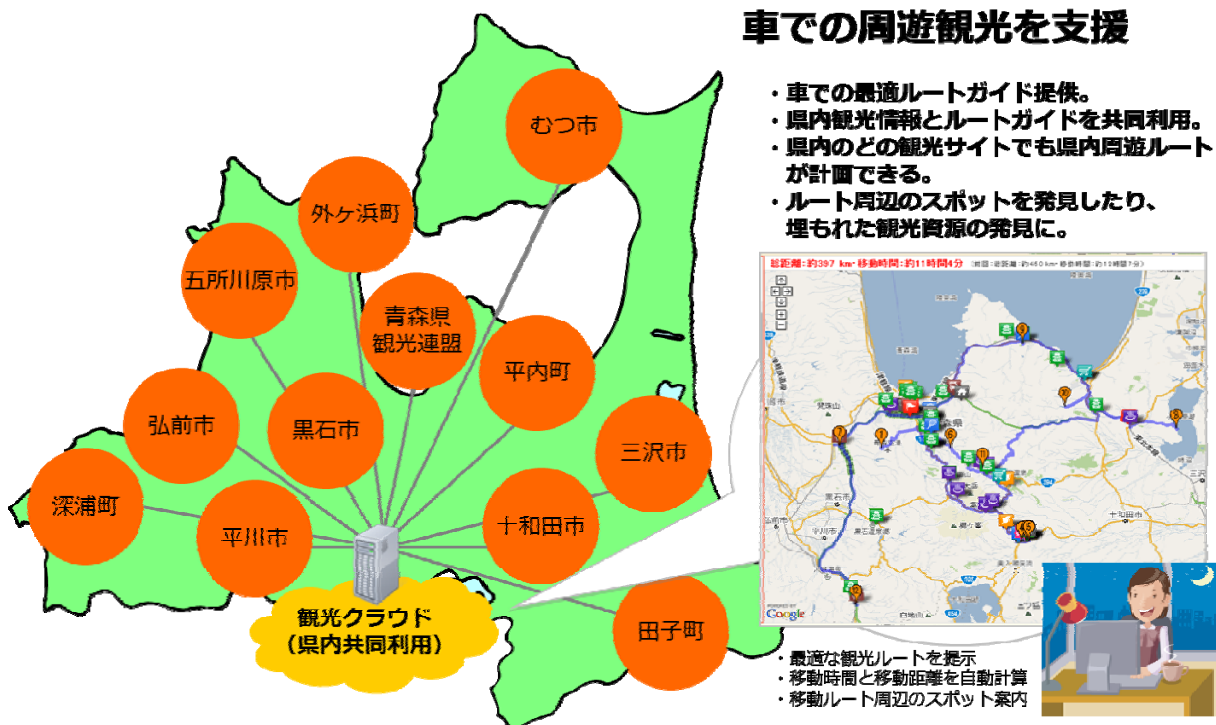
地元ならではの密度の濃い観光情報サービスとして、特に着地での旅行者には埋もれた魅力を発見する有効な手段となっています。

このように青森県では公共団体様の保有する観光情報を民間に開放することで、様々な地域情報サービス創出へとつながっています。

【県内観光サイトで共同利用。県をあげて旅行者の周遊計画を支援】

車での周遊観光を支援

- ・車での最適ルートガイド提供。
- ・県内観光情報とルートガイドを共同利用。
- ・県内のどの観光サイトでも県内周遊ルートが計画できる。
- ・ルート周辺のスポットを発見したり、埋もれた観光資源の発見に。



総距離: 約297 km 移動時間: 約11時間4分
総距離: 約40.0 km 移動時間: 約11時間7分

- ・最適な観光ルートを表示
- ・移動時間と移動距離を自動計算
- ・移動ルート周辺のスポット案内

〔参照モデル〕

観光クラウドは H20 年度総務省地域 ICT 利活用モデル構築事業(青森県五所川原市)での事業成果を参照し、当社で共同利用型サービスとして進化させたモデルです。

(問い合わせ先)

株式会社富士通東北システムズ 青森事業所
インターネットサービス事業部 米田(まいた)

TEL: 017-762-1053 e-mail: maita-t@jp.fujitsu.com

(地域情報発信の強化－２)

道路及び周辺情報配信システム (福島県西郷村)

〔概要〕

西郷村の安全、安心な地域作りの取り組みを推進し、その取り組みを内外にPRすることを目的として、道路及び周辺情報配信システムを整備し、その運営を実施する。

〔コラム〕

白河地方と会津地方を結ぶ甲子道路の開通に伴い、増加した交通事故を未然に防ぐため、国道289号線の高低差による道路状況の変化等の動画情報を、インターネット、携帯電話、デジタルサイネージを通して、国道利用者に提供している。

村関連施設である「キョロロン村」駐車場内には、大型ディスプレイを設置しドライバーの方や観光客の皆様に情報提供を行っている。

(西郷村ホームページより)

<http://www.vill.nishigo.fukushima.jp/view.rbz?cd=1103>

The screenshot shows the Nishigo Village website in Microsoft Internet Explorer. The main content is a '西郷ライブカメラマップ' (Nishigo Live Camera Map) which displays a map of the area around Nishigo Village. The map highlights the Kojima Road (国道289号線) and shows various landmarks and facilities, including the '河川監視Webカメラ' (River Monitoring Web Camera), '西郷ダム' (Nishigo Dam), and '柳福橋' (Yanagifukubashi Bridge). The website also features a navigation menu with categories like '暮らしのガイド' (Living Guide), '観光・遊ぶ' (Tourism/Play), and '産業・ビジネス' (Industry/Business). A sidebar on the right provides quick access to various services such as '暮らしの便利帳' (Living Convenience Book), '福祉' (Welfare), '安全' (Safety), and '生活環境' (Living Environment). The footer includes contact information for the Village Office and links to related information.



(問い合わせ先)

東日本電信電話株式会社 ビジネス&オフィス事業推進本部 TEL : 03-6803-9055

(地域情報の発信の強化－3)

双方向告知通信システムを活用した地域情報の動画配信サービス (熊本県阿蘇市)

〔概要〕

阿蘇市には、地場産業の振興、人材育成、雇用創出を図る施設「阿蘇テレワークセンター」があり、地域情報の発信を行ない魅力あるまちづくりに役立っている。光ブロードバンドネットワークを整備し、動画も送れる告知通信システム「知らせますケン」を導入し、市民向けに「市役所からのお知らせ」の連絡と共に、地域のニュース等の動画を配信している。

〔コラム〕

双方向告知通信システム『知らせますケン』を利用し、市民向けに「市役所からの一般的なお知らせ」を配信すると共に、阿蘇テレワークセンターが有するインターネットテレビ放送局「WEB-TV アソ」が製作する地域情報番組の一部や、市長のインタビュー、地元で働くフレッシュマン等の動画を市民に配信しています。

配信された動画のタイトルが画面に表示され、そこをタッチすると番組を見ることができるので、高齢者にも使いやすいシステムです。今まではパソコンでしか見ることができなかった番組を各戸の告知端末に配信することで、より多くの市民にニュース、イベント、観光情報等の地域情報を届けられるようになりました。

また、告知端末を使って福祉に関する様々な情報提供を行う web ページ、「阿蘇あんしん福祉ネット」を作って端末から見られるようにしています。安否の確認、そうだん室、ふくしと健康等の六つのチャンネルがあり、好きなものが見られます。チャンネル毎に担当窓口へワンタッチでつながるテレビ電話ボタン付きで、高齢者の方のあんしんホットラインとなっています。

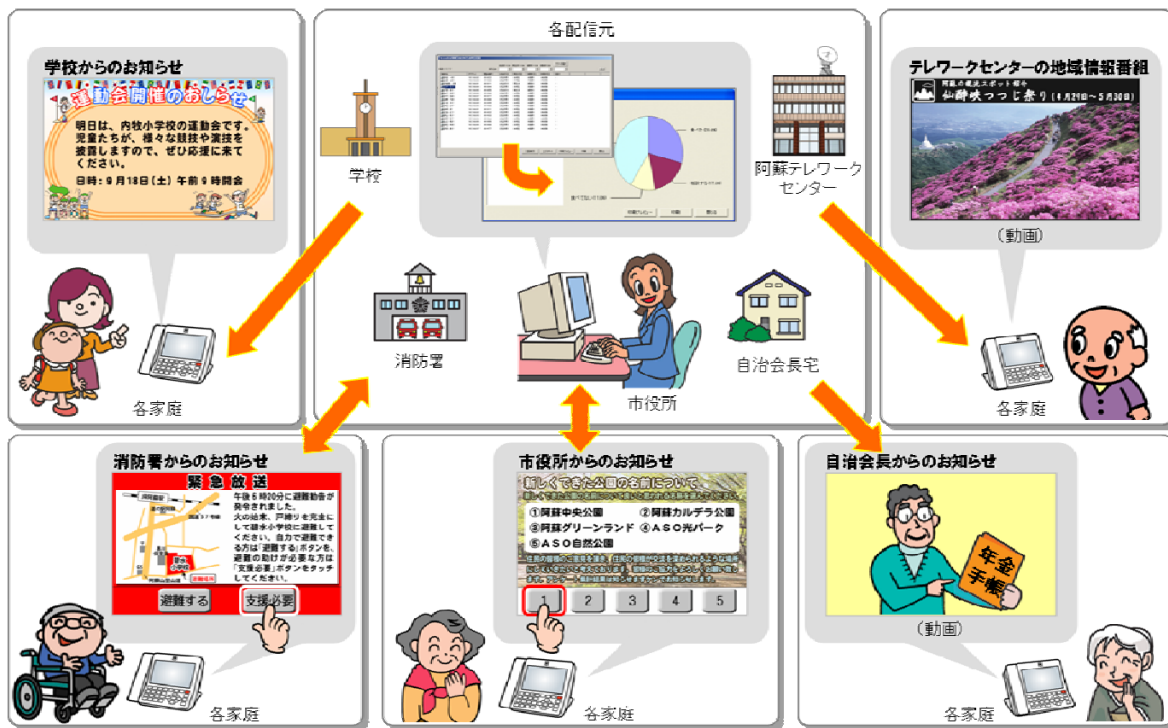


図 1. 阿蘇市お知らせ配信イメージ

The screenshot shows the '阿蘇あんしん福祉ネット' (Aso Anshin Welfare Net) website. It features six service tiles under the heading '情報提供:阿蘇市/阿蘇TWC あんしんホットライン' (Information provided: Aso City/Aso TWC Anshin Hotline):

- 安否の確認** (Check on well-being): 'お元気ですか?' (Are you well?). 担当: 尾形サポーター (In charge: Oguni Supporter).
- そうだん室** (Counseling room): 'なんでもそうだん室' (Whatever counseling room). 担当: 立花サポーター (In charge: Tachibana Supporter).
- 動画ばんぐみ** (Video program): 'みんなのミニテレビ' (Everyone's mini-TV). 担当: 江藤サポーター (In charge: Edo Supporter).
- アンケート** (Survey): 'かんたんアンケート' (Easy survey). 監修: 中嶋サポーター (Supervised by: Nakajima Supporter).
- ふくしと健康** (Welfare and health): 'すこやかだより' (Healthy newsletter). 監修: 中尾雅信 先生 (Supervised by: Masanobu Nakao, Doctor).
- 避難ばしょ** (Evacuation shelter): 'もしもの避難情報' (What-if evacuation information). 担当: 上村サポーター (In charge: Uemura Supporter).

図 2. 阿蘇あんしん福祉ネット画面

(問い合わせ先)
 西日本電信電話株式会社
 e-mail : vcs-sl@bbs.cbh.east.ntt.co.jp
 株式会社アイ・コミュニケーション
 e-mail : shinchi@i-communication.co.jp

(地域情報の発信の強化－４)

花なび
(京都フラワーツーリズム推進協議会)
<http://flowertourism.net/>

〔概要〕観光タクシードライバーや個人がおすすめる京都の四季折々の花をデジタルカメラなどで撮影し、それぞれのWEB上にアップされた最新の観光コンテンツを集め、撮影時刻順に公開。同時に「ハイアットリージェンシー京都」の1Fロビーの大型ハイビジョンディスプレイ、京都信用金庫嵯峨支店、城南宮、大映通り商店街などの「電子ポスター」によりリアルタイムで配信。

〔コラム〕

花なびでは一京の四季の花の美しさを満喫していただき、また同時に地域の素晴らしい観光の魅力も味わっていただきたいとの思いから外国人観光客を含めた多くの方々に、京都の四季おりおりの花の開花状況や地域の観光の魅力などをリアルタイムに情報提供・案内を行い、観光誘客の促進と地域の振興を図っています。これまでに季節の花、約3,000件(平成21年1月～平成21年11月)の情報発信を行い、京阪神の主要な32のホテル客室やiPhoneなどで約2万人が観賞しています。花ナビのシステムはタクシー会社や個人、NPOなどからの個別情報を集約し広く情報発信してゆくプラットフォームとして機能しており、iPhoneアプリではGPS検索機能を使って自分がいる周辺の“おすすめる花”、イベント、お店などの情報を知ることが出来るとともに、各情報場所までの経路を表示できるようになっており、初めて京都を訪れた方でも迷わずに目的地まで行くことができます。また、市内の見ごろの花を一番よくわかっているタクシー運転手にとって、情報発信とともに観光客へのサービスにもつながり、やりがいを実現してゆく場としても活用されています。

iPhoneアプリ「花なび」による道案内



(花なびのホームページより)

紅葉,桜情報は花なびで 京都フラワーツーリズム(Flower Tourism)
花なびは京都大好きなリポーターの方々が撮影した今の京都のリアルタイムの花情報です。

花なび | 1月30日講演会お申込み | ノベルなび | iPhoneアプリ「花なび」 | フラワーツーリズムについて | お問い合わせ | 登録

◆ ノベルなび大賞
ノベルなび大賞へたくさんの応募をありがとうございました。ノベルなび大賞の応募作品一覧です。

◆ iPhoneアプリ 花なび(無料)
iPhoneアプリ版は、現在地や主要なスポットから検索し目的の花を探し、地図で遊覧します。ぜひご利用ください。

◆ @NowKyoto on Twitter
twitter
[今日の京都]Hatsutora Festival, Bisva...
[今日の京都]初宮大祭<思沙門堂> 1月3日~1月5日 観望送馬を修し、五穀豊穡...
[今日の京都]Fude Hajime and Tenman-山...
[今日の京都]筆始祭・天満宮<北野天満宮> 1月2日~1月4日 祭神の貴族霊魂...
[今日の京都]Two Sides of Insho's Work...
[今日の京都]印象作品の発表

花なび
花なび

マンリョウ<大河内山荘>
花なび 撮影日時 1月2日16時 見頃
大河内山荘の縁です。
撮影役、中井タカシー 090-6601-4845です。
Hanababi Spearflower 02/01, 16:00 Best time Okochi Sanso
by 中井タカシー 090-6601-4845
大河内山荘の庭園のマンリョウが見頃です。紅葉で有名な庭園ですが、今は冬の先に雪が死んでいるだけです。あとはこのマンリョウの赤い実が降っています。
コメントID

◆ 京都観光
京都旅行なら「じゃらん」
日本全国約15000件のホテルをご紹介! カチコチ情報満載。当日予約OKもあり
www.jalan.net
東京を楽しむガイドカー
都内の人気スポットへご案内 2名以上で無料OK
www.okochi-tour.net
Ads by Google

◆ 花なび
花なび
マンリョウ<大河内山荘>
ワタシは花なび

(問い合わせ先)
京都フラワーツーリズム
高木治夫
haruo.takagi@gmail.com
TEL090-1133-1358

(地域情報の発信の強化－5)

青森県のお店情報発信サービス「ぴらなび@ami' z」
(株)富士通東北システムズ
<http://pr.amiz.jp/>

〔概要〕

お店の紹介ページ (HP)、身近な話題を提供する店員日記 (BLOG)、お客様へのメール配信、ケータイで特典交換できる電子クーポン、お店のモバイル会員登録などの機能を、ケータイ (含む PC) だけで利用できる地域共同利用型のお店情報発信サービスです。地域 SNS など地域住民が集うサイトとも連動し、埋もれた地域のお店を浮上させるとともに、お店の会員づくりなど来店客のリピータ化を支援しています。

〔コラム〕

ICTの普及・進化により、通販など物販事業には大きな恩恵をもたらしましたが、飲食店など来店型の事業者の多くは、まだ紙媒体に依存しており、情報発信コストが割高となっています。

また、ケータイを活用した会員サービスによる顧客囲い込みなど、来店型事業者にはケータイの活用が有効ですが、小規模店舗で同様のサービスを構築するのは容易ではなく、情報発信力による格差が段差になりつつあります。

この課題に着目し、地域の小規模店舗の情報発信力を底上げするため、以下の情報サービスを構築しました。ここから発信された情報は地域 SNS や観光サイトなど様々な地域メディアと連動し、多角的に情報流通される地域の情報基盤としての位置づけにもなっています。

1. 地域メディアへお店情報を発信

地域住民が集う地域 SNS や、地域のお店情報ポータルサイトを開設し、これら地域メディアとの連動により、お店からの発信情報を地域住民へ届けます。

2. お店のリピータづくり

店頭にお店専用 QR コードを表記した POP 等を設置。来店客はケータイで、そのお店の優待会員として登録できます。お店の発信したオススメ情報はメール等で配信され、今日の入荷情報など、これまで来店しないと伝えることができなかった情報をお得意様にタイムリに発信できます。

3. 地域での共同利用型サービス

地域の共同利用型サービスにすることで、利用コストを抑制でき (基本無料、有料 OPTION は月額 2,625 円)、地域のお店の集合により露出機会の相乗効果も生まれます。また、地域の公共観光サイトなどとも連携し、旅行者に着地側のお店から生の声、旬な情報なども発信しています。



ケータイ1つで利用できる集客ツールを地域で共同利用



<http://pr.amiz.jp/>

〔制作費（うち公的な補助額）〕

H20年度 青森県 情報ビジネスモデル研究事業 補助額：150万円
 （青森県商工労働部新産業創造課）

（問い合わせ先）

株式会社富士通東北システムズ青森事業所
 インターネットサービス事業部ビジネスモデル変革室 米田（まいた）
 TEL：017-762-1053 e-mail：maita-t@jp.fujitsu.com

(地域情報の発信の強化－6)

動画情報局くまちゃんねる

(熊本県熊本市)

<http://www.city.kumamoto.kumamoto.jp/>

〔概要〕

熊本市の定例市長記者会見やテレビ広報番組等を動画で視聴できる。中でも、08年にケーブルテレビで放送した「熊本城本丸御殿」の特集番組や、熊本の名産や名所を紹介する番組「熊本 YOKAMON 図鑑」の「熊本城シリーズ」は、熊本市のシンボルである熊本城について、その歴史から見どころまで詳しく知ることができる人気コンテンツである。

〔コラム〕

情報インフラの整備や高速回線の普及などの高度情報化の進展を背景としたインターネットの急速な普及により、ホームページを利用した情報提供は一般的なものとなりました。また、フィーチャーフォンやスマートフォンなどのネットに対応した高度な携帯機器も普及しつつあり、インターネットは生活者にとってどんどん身近な存在となってきています。本市においても、動きのある動画情報を、文字情報、画像情報だけではない魅力的なコンテンツとして捉えており、臨場感があり、また一目で分かりやすい広報手段として、積極的に活用しようと考えています。

配信にあたっては、編集加工作業を外部委託せず、専門職員を配していない体制の中での作業に苦勞する面もありますが、より多く、より効果的なコンテンツを迅速に配信できないか日々模索中です。また、民放で放送した市政広報番組を放送後すぐにネット視聴用に変換して掲載しており、番組制作を無駄にせず、クオリティの高い広報ができていると考えています。

市のホームページ内で動画情報は、「動画情報局くまちゃんねる」という独立したページに集約されており、閲覧者にとってもアクセスしやすいものとしています。アクセス数も全コンテンツ中で常に上位にあり、システムを利用したアンケート（5段階評価）では、最高の評価が70.8%、良いとする評価が9.8%となっています。

〔制作費〕

0百万円

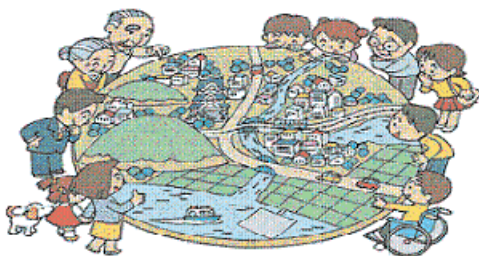
(熊本市ホームページ「動画情報局くまちゃんねる」より)



興味しんしん家族

熊本市のテレビ広報番組。
RKK(熊本放送)で放送されている「興味しんしん家族」です。

政令指定都市を目指して



政令指定都市実現

政令指定都市実現に関する動画を掲載しました。



熊本城・旧跡 等

熊本城・旧跡等に関する動画を掲載しています。

(問い合わせ先)

熊本市 企画財政局 企画情報部広報課

Tel : 096-328-2043 e-mail : kouhou@city.kumamoto.lg.jp

(地域情報の発信の強化－7)

奥出雲まめなかねット

(島根県 奥出雲町)

<http://mypage.okuizumo.ne.jp/>

〔概要〕

町民自らがホームページを作成し、町内外に向けて情報発信を行うサイト。ブログ感覚で誰にでも分かり易く、簡単にホームページの作成・更新ができ、お手軽に情報発信ができることが魅力。

〔コラム〕

奥出雲町では従来から町民向けブログサイトがあり、「奥出雲まめなかねット」はそのリニューアル版として平成20年11月20日から運用を開始しています。また、定期的にIT講習会を開催し、その中で本サイトの作成・更新についても講習を行っています。この取り組みにより多くの皆様に本サイトをご利用いただいています。本サイトのユーザからは、「サイトを見て、町外・県外から返信が来るようになり、いろいろな地域の人と楽しく情報交換している」、「紅葉の写真をサイトで公開したところ、紅葉の時期に町外・県外からの観光客がかなり増えた」、「観光地の状況についての電話での問合せに、補足資料としてサイトに掲載している写真を見てもらっている。観光客からは「参考になった」と喜ばれている」、「このサイトでお店のアピールをするようになって、売り上げが上がった」などの声も聞かれ、個人的な情報発信のみならず、地域の活性化にも一役買っています。

本町は高齢化率が高いので、高齢の方にも利用していただけるようなシステムにしないと住民へ浸透しません。そこで、本サイトを構築する際には、誰でも簡単に、直感的にページを作成・更新できるようなシンプルなシステムにすることを心がけました。その甲斐あってか、住民の皆様に積極的にご活用いただいております。平成23年11月時点で、サイト数は139件となっています。また、本サイトの運用開始から現在までに100万件以上のアクセスをいただいております。

〔制作費（うち公的な補助額）〕

約2百万円（1百万円：島根県町村会）

（ただし、奥出雲町ホームページ制作費も含む。）

【奥出雲まめなかねットのポータルサイト】

奥出雲まめなかねット
http://mypage.okuizumo.na.jp

〒690-0101 出雲県奥出雲郡雲南町大字奥出雲1-1-1
電話 0854-54-2505
FAX 0854-54-2525
Eメール mypage@okuizumo.na.jp

● ホーム

● ログイン

● このサイトに役立つ

- Myホームページ利用手順
- Myホームページ申請
- 利用規約
- 会員規約
- プライバシーポリシー
- 問合せ先

● 月間アクセスランキング

1. 奥出雲 奥だち塾付院★院長日記★
2. JR亀屋駅・扇屋そば
3. 昔ながらの米俵づくり
4. ミトの一日
5. 奥出雲だより
6. 奥出雲多様自然博物館
7. こんにゃも。子育て支援室です。
8. 奥出雲の店 うちだ
9. Around 50
10. 奥出雲そば処
11. みなぎゃん！屋久杉の運搬工事
12. バーガーハウスビニール
13. ワンタッチそばまん
14. 三蔵中央公民館のページ
15. 大お祭り、ドライブイン三井野、たお祭り
16. 三蔵小学校
17. Jリット
18. 日本遠大特設人間
19. 亀屋温泉 玉柱山荘
20. サイクリングターミナル

更新日 2011年11月 1日 09:25

検索 調べもの

Google 検索

Google 検索

- WWWを検索
- サイト内を検索
- マルチ検索(和・英)
- Yahoo!検索
- Weblio辞書
- Weblio英和・和英辞典

YAHOO! 天気・気象

今日 明日 天気 気象

地域を選択

西条 松江 浜田 出雲

お知らせ 発表時刻 11:00

スマホでも、PCでも、気象

これをブログに載せるには？

© 2011 Japan Weather Association, © 2011 Yahoo! Japan Corporation.

(問い合わせ先)

奥出雲町役場 総務課 情報通信係
奥出雲町情報通信協会

TEL : 0854-54-2505
TEL : 0854-54-2525

(地域情報の発信の強化－８)

よかまち・きやんせ倶楽部 (薩摩川内市定住支援センター)

<http://www.city.satsumasendai.lg.jp/www/genre/00000000000000/1268816498923/index.html>

〔概要〕

薩摩川内よかまち・きやんせ倶楽部は、定住希望者の新規開拓と情報発信を主な業務とし、薩摩川内市のホームページからインターネットを介し、本市で取り組んでいる定住に関する重点施策（本市民が受けられる補助や定住の際に受けられる補助など）や仕事情報、住まい情報等、定住希望者のための充実した情報が提供されている。

〔コラム〕

1. 概要

薩摩川内市の人口は減少を続け、平成22年度国勢調査では、99,589人となり、10万人を下回る結果となりました。そのため、市は「定住自立圏共生ビジョン」に基づいて定住促進を進め、平成27年においては102,000人以上の人口を目標値としています。主な事業の特徴として、転入誘導に特化した政策とし、転入者に対して助成事業を行っています。

2. 事業内容

定住自立圏共生ビジョンの中で、平成22年度から平成26年度までの5カ年とし、「都市部の定住希望者へ情報発信を行うとともに、宿泊体験や自然体験を通じて交流を促進し、移住の際の負担を少しでも軽減できる施策を展開することにより、本市へ住みたいと思うまちづくりを進め、定住促進を図る。」としています。

(事業の例)

- ・ 定住住宅取得補助
- ・ 定住住宅リフォーム補助
- ・ 新幹線通勤定期購入補助
- ・ 大都市圏で開催される移住セミナー等への出展（移住相談対応）
- ・ よかまち・きやんせ倶楽部通信の定期発行
- ・ メールマガジンの定期発行
- ・ 余暇交流体験モデル事業

事業の活用状況は、新幹線通勤定期購入補助と定住住宅取得補助は平成17年度から、定住住宅リフォーム補助は平成20年度から開始しており、今までに、定住住宅取得補助とリフォーム補助で400世帯（1091名）【H23年11月末現在】が移住しています。新幹線通勤定期購入補助は204名【H

23年11月末現在】の利用がありました。平成18年度から、ワンストップサービスの窓口（定住支援センター）を市役所に設置し、薩摩川内市に興味を持っている方々に情報発信をしています。さらに、薩摩川内市の定住に関心を持っている方に、市からのお知らせや定住に役立つ情報を発信する、「薩摩川内よかまち・きやんせ倶楽部会員」を募集しており、現在、約1,800名が会員登録しています。また、薩摩川内市のホームページにおいて、定住促進関連情報を紹介しています。

（薩摩川内市定住支援センターのホームページより）

薩摩川内市定住支援センター
よかまちきやんせ倶楽部
Yokamachi Kiyanse Club website

総合メニュー

- 補助制度情報
- 住まい情報
- 交流体験・体感事業情報
- 移住・定住体験談情報
- 仕事情報
- ふるさと納税情報
- お知らせ

音声読み上げ支援ツール 文字の大きさ 小 標準 大 サイト内検索

トップページ > 定住促進(よかまちきやんせ倶楽部)

定住促進(よかまちきやんせ倶楽部)

子供のころの風景が
今もここに 있습니다

薩摩川内市定住支援のお問い合わせ
フリーダイヤル 0120-420-200
E-mail kiyanse@city.satsumasendai.lg.jp

（問い合わせ先）

薩摩川内市定住支援センター

Tel : 0120-420-200 e-mail : kiyanse@city.satsumasendai.lg.jp

竹田市農村回帰定住支援サイト
(大分県竹田市)

<http://www.city.taketa.oita.jp/nouson/>

〔概要〕

大分県竹田市への居住希望者に対して、農村回帰(竹田市への移住)に関する有用な情報を提供するシステム。過疎化の歯止め、地域の活性化を目的として、竹田市役所をはじめ、市内外の様々な団体等の協力も得ながら、インターネットを介して、より多くの情報提供を目指している。

〔コラム〕

竹田市は全国初の「農村回帰宣言市」を標榜するとともに、ふるさと回帰支援センターと相互協力協定を締結し、平成22年6月に設立された「竹田市農村回帰支援センター」を軸に、竹田市への移住を推進する事業を展開しています。そのなかでも、「竹田市空き家バンク」事業への利用登録者数は年々増加傾向にあり、平成23年11月末現在では約360世帯が登録されています。利用希望者ニーズをよりの確に把握することに努め、物件情報をお知らせすることはもちろん、竹田市を肌で感じていただき、物件を実際にみていただけるよう、現地案内も行っています。このような取り組みの成果から、これまで成約件数55件(定住者129名)となっています。また、空き家バンク以外にも、「集落支援員制度」の導入により移住者へのアフターケアをより充実させ、「子育て定住促進住宅」の建設により子育て世帯が移住しやすい環境をつくとともに、各種助成事業により移住のお手伝いをさせていただいています。移住して来られた方には、「竹田市に住んで良かった。」と実感していただけるように、また、地域の人が「この人たちが住んでくれて良かった。」と思えるように、これからも積極的に取り組んでいきたいと考えています。

〔サイト制作費〕

- 約40万円

(竹田市農村回帰定住支援サイトのホームページより)

The screenshot shows the homepage of the Taketa City Rural Return website. At the top left is the Taketa City logo with the text "竹田市 Welcome To Taketa City". To the right are navigation links: "サイトマップ", "お問い合わせ", and "音声読み上げ". Below these are "文字サイズ変更" buttons for "標準" and "拡大".

The main content area features the title "農村回帰" (Rural Return) in large characters, with "とは" (What is it) written vertically below it. To the left of the title is a vertical text block: "地域の魅力を地域から見直し発信する 農村回帰から竹田は新しいまちづくりを目指します". A circular button labeled "詳しくは" (For more details) is positioned below this text.

To the right of the title is a vertical text block: "今も残る歴史情緒あふれる町並み そこに集う異郷で温かい人々 日本人が忘れかけた 自然と共生する暮らしが ここ竹田にはあります".

Below the main content is a horizontal navigation menu with five items: "TOP", "農村回帰宣言市とは", "竹田で暮らす", "竹田で働く", and "竹田のひと".

The main banner image shows a festival scene with people in traditional attire and a decorated float under cherry blossom trees.

At the bottom left is a "新着情報" (Latest Information) section with a table of news items:

お知らせ	2011年11月17日	入居申込み期間の延長について
募集	2011年11月17日	子育て定住促進住宅
お知らせ	2011年10月24日	空き家登録情報
お知らせ	2011年10月22日	空き家登録情報

At the bottom right is a "竹田市空き家バンク 空き家情報一覧" (Taketa City Empty Home Bank Empty Home Information List) section, featuring a small image of a person and the text "ふるさと起業塾 塾生募集中!".

(問い合わせ先)

竹田市 企画情報課 農村回帰推進室

TEL : 0974-63-4801 e-mail : nouseikaiki@city.taketa.lg.jp

(地域情報の発信の強化－１０)

みんなで作る情報板 わかやまイベントボード
(NPO法人 市民の力わかやま)

<http://eventboard.shiminjuku.jp/>

<http://eventboard.shiminjuku.jp/m/> (携帯サイト)

〔概要〕

和歌山県内のイベントを検索できるサイト。特徴は、個人、団体、公共施設などが主催するイベント情報を自ら入力し、PRできるという手作り感溢れる情報発信ツールであること。

〔コラム〕

本サイトは平成17年度に実施した和歌山県事業「わかやま情報発信プラットフォーム構築モデル事業」の成果をもとに運営しています。同事業は自分たちの活動をPRできない市民団体やNPO等が容易に情報発信できる仕組みを作り、それにより「地域コミュニティの再生」や「地域活性化」の可能性を探ることを目的として、「みんなでつくる情報板 わかやまイベントボード」を構築し、その有効性を検証するというものでした。平成17年10月末～2月中旬の期間サイトを開設し、検証を実施したところ、アクセス数9,390件、イベント数979件、参加団体数118団体という結果が得られ、その有効性が実証されました。平成23年12月現在では、280万件を超えるアクセス数、4万1千件を超えるイベント数と515団体を超える参加団体数で県内最大級のイベント情報掲載サイトに成長するとともに、本サイトを介して様々な交流が広がるなどコミュニケーションの場としても活躍しています。また、わかやまイベントボードは総務省近畿総合通信局、近畿情報通信協議会との共催による「関西ウェブサイト大賞2009」において、「関西ウェブサイト大賞優秀賞」を受賞しました。

http://www.soumu.go.jp/soutsu/kinki/new/2009/090608_01.html

〔制作費（※和歌山県からの実証実験委託により構築）〕

約90万円（※実証実験関連費用及び報告書作成費用込）

(わかやまイベントボードホームページより)

現在のアクセス者総数 101,801 人 イベント登録数 10,082 件 主催者登録数 270 件

●本日開催のイベント(2007年12月17日 月曜日)

イベント名	主催者
新宮市駅伝大会(08/1/20開催)参加者募集 #12/27まで	新宮市
お手玉遊び交流会	和歌山府手玉の会(ななこの会)
キャリアカウンセラグループ	株式会社キャリア・ブレスユー
和歌山市保健所南保健センターすくすくルーム(申込12/11まで)	和歌山市保健所・南保健センター
JIAS PC パソコン講習会(12/15・17・19) #12/14申込締切	JIAS PC
雇用管理講習会(要事前申込)	雇用・能力開発機構和歌山センター

●開催中の長期イベント

イベント名	主催者
心すこやか、生まがいきりに「聞く読書。朗読カセットテープ貸し出しします(田辺市)	NPO法人 和歌山県健康アクト協会
演劇や能踊りを見て学ぼう	和歌山舞台芸術ネットワーク
和歌山市百景フォトコンクール.07 和歌山市の写真展募集 1/18締切	旅フェスタ実行委員会
近畿とるば フォトコンテスト	近畿地区とるば推進委員会
片男波公園万葉館企画展「まのくにを詠りたう」	片男波公園万葉館
キャリア形成を支援！ 随時予約してください。	雇用・能力開発機構和歌山センター
第4回 孫市まつり「雑賀孫市役オーディション」参加者募集	孫市の会 事務局
県立紀伊風土記の丘 秋期特別展「祈りの民具と郷土玩具」	県立紀伊風土記の丘
和歌山大学附属図書館で日曜開館	和歌山大学附属図書館
イセエビ味覚祭り	すさみ町観光協会
	共催:和歌山大学紀南サテライト、和歌山

(問い合わせ先)

NPO法人 市民の力わかやま

TEL : 073-428-2688 e-mail : eventboard@wakayama.shiminjuku.jp

UJIターン空き家情報
(高知県大豊町)

http://www.town.otoyo.kochi.jp/life/house_search.php

〔概要〕

UJIターン空き家情報は、町内への定住を目的として平成17年4月からホームページで町内の空き家情報を提供しており、平成23年12月現在、約20数名のUJIターン者が大豊町に移り住んでいる。大豊町は、行政の役割として、物件の所有者と使用貸借希望者又は賃貸（購入）希望者との橋渡し役として情報を提供している。

〔コラム〕

本サイトは、UJI事業での第1号契約をきっかけに、平成17年4月に（社）高知県宅地建物取引業協会の支援を受け、手作りで「UJIターン空き家情報」として、ホームページに公開したのが始まりです。当時としては珍しく、公開当初からアクセス数も多く、メールや電話での質問なども多く寄せられるようになりました。平成18年7月の大豊町ホームページのリニューアルを契機にUJIターン空き家情報の充実を図るため、全面的な見直しを行いました。さらに平成24年2月には第2段のリニューアルの予定しており、アクセス数の増加及び定住への期待がかかっています。

平成22年度からは都市との交流に重点をおいた取り組みを進めており、その中でUJIターン希望者へのサポート等も実施できるよう、窓口を一本化しております。

都市から見ると非日常である山村の日常の営みを多くの人々に体験していただき、交流を活発化するなかでUJIターン者の増加に向け、魅力ある定住環境の実現に取り組んでいるところであります。

〔制作費〕

なし（自主制作）

(高知県大豊町のホームページより)

Welcome to OTOYO TOWN Web site

おまとよ
四国山地の中央部 大豊町

HOME > 空き家情報
暮らしの情報

はじめての方へ

UJIターン空き家情報 House Information

[No.44] 戸手野
所在地 : 戸手野
土地面積 : 267.69平方メートル
建築年 : 築18年
駐車場 : 有
菜園 : 無
[詳しくはこちら](#)

[No.7] 日浦
所在地 : 日浦
土地面積 : 不明
駐車場 : 無

暮らしの情報
行事カレンダー
大豊町プロフィール
役場案内
公共施設案内
観光・自然体験
史跡・文化財
特産品の紹介
広報・議会だより

(問い合わせ先)

大豊町役場 総務課 交流班 (大豊町総合ふれあいセンター内)

Tel: 0887-73-0811 (内線 201, 202, 203)

交流班 e-mail: kouryu@town.otoyo.lg.jp

屋久島町だいすき基金
(鹿児島県屋久島町)

<http://www.yakushima-town.jp/>

〔概要〕

世界自然遺産に登録されている屋久島は、世界中から年間40万人の入り込み客が訪れる人気の観光スポットとなっている。観光客の増加に伴い、ごみ処理やし尿の問題等により、将来にわたって自然環境を維持していくためには大きな課題を抱えている。そこで、環境保全や地域の活性化に限った善意の寄附金を集めるため、インターネットを介して寄附を呼びかけている。

〔コラム〕

屋久島で生まれ育ち、東京や大阪などの大都市で生活をされている方々、仕事や観光などで一時期でも屋久島に関わりを持たれた方々など、屋久島を「ふるさと」と思ってくくださる方々でふるさとに“貢献したい”“応援したい”と思ってくくださる方々の思いをお寄せいただきたいということから屋久島町では、平成20年3月に「屋久島町だいすき寄附条例」を制定しました。その思いに添えるべく、寄附金の使途は、環境保全対策事業と地域の活性化事業に絞ったところです。屋久島が1993年に世界自然遺産に登録され、その後、大都市でも屋久島に関するテレビ放映などが頻繁に行われるようになり、特に環境保全に対する関心が高まっていることから、これらの取組みについての情報発信を含め、本町のホームページにも各種情報を掲載しており、その中で「屋久島だいすき寄附条例」に関する内容も紹介しています。雇用問題や燃料価格の高騰など、急激に経済情勢が悪化し、大都市で生活されている方々もたいへんな年の瀬を迎えられていることを思えば、寄附をお寄せいただいた方々には心から感謝を申し上げる次第です。平成20年4月1日から現在までの期間ではありますが、多くの方から総額3,373,000円の善意が届けられました。今後、「ふるさと納税」制度が更に浸透していくことや屋久島町ホームページへのアクセス件数が増えることとあわせて、来年以降多くの善意の申し出があることを期待しているところです。

(屋久島町のホームページより)

屋久島町「だいすき基金」のご案内

屋久島は、平成19年10月に二つの町が合併をし、「屋久島町」として新たな歩みをはじめました。合併作業の過程で策定された「新町まちづくり基本計画」は、住民委員会において度重なるワークショップを行い、屋久島のあるべき将来像を定めたものです。

基本理念は、『悠久の流れの中で、自然と共に生きる知恵と多様な集落の文化がとけあい、人々の営みが循環・持続していくまち』を目指すこととしています。

その考え方は、次のとおりです。屋久島には、奥深い山の自然、生活の背景となる森や山、そこから流れ出る川、清らかな水、表情豊かな海、その中で育まれてきた農業、漁業、林業、それらを支えとして培われてきた集落固有の祭りや郷土芸能、神社・仏閣などの歴史・文化、それらに根ざした暮らしぶり、集落の営みがあります。

また、まとまり強固な集落コミュニティ、集落ごとの自立・自治の精神など個性的で多様な特性をもっています。この個性的な多様性こそが屋久島の価値といえます。

これからは、悠久の流れという果てしなく長くつづく時間の中で、脈々と息づいてきた島の生い立ちや歴史を振り返り、先人たちが培ってきた自然と共に生きる暮らしぶりやこころのやさしさ、思いやり、強さをもう一度掘り起こし、新たな価値を創造するとともに、集落固有の多様な歴史・文化を受け継ぎながら、これらの多様性を語り合い、認め合い、とけあわせた中で、島に暮らす人々の営みを未来永劫絶やすことなく循環・持続させていくということを「まちづくりの基本理念」とします。

そして、「住民・集落」と「行政」が「まちづくりの基本理念」を共有しながら、「対話」と「協働」により、それぞれの役割・責任を分担しあう『屋久島スタイル』のまちづくり形態を創りあげ、新しいまちの姿(将来ビジョン)を実現させていきます。

このような町づくりを進めていくうえで、「環境保全」と「地域の活力づくり」のための財源に限定した寄附を募り、皆様と共にまちづくりを進めていくことを目的に、屋久島町だいすき寄附条例を制定し、「屋久島町だいすき基金」を設置しました。

ふるさとへの熱い思いをお持ちの屋久島出身の皆様、屋久島ファンの皆様のあたたかいお気持ちをお待ちしております。

平成23年11月11日

屋久島町長 荒木 耕治

(問い合わせ先)

屋久島町 総務課 屋久島町だいすき基金 係

TEL : 0997-43-5900 e-mail : soumu@yakusima-town.jp

(地域情報の発信の強化－13)

新潟県のブロードバンドポータルサイト
『新潟ふるさと情報局』
(新潟県IT&ITS推進協議会)

〔概要〕

新潟県 IT&ITS 推進協議会*1 では、新潟県のブロードバンドポータルサイト『新潟ふるさと情報局*2』を運営し、県内のブロードバンドコンテンツを配信している。

本サイトでは、映像配信等による新潟県の紹介を行い、ブロードバンドに対する認知度の向上に寄与している。

*1 県内の地域情報化を推進する産学官連携組織

*2 『新潟ふるさと情報局』 <http://navi.n-it-its.jp/>

〔コラム〕

新潟県 IT&ITS 推進協議会では、ブロードバンドに対する県民の理解と関心を深めることを目的として、平成 18 年 1 月に『にいがた BB ライブラリー』を開設し、平成 21 年 10 月に『新潟ふるさと情報局』と改称してリニューアルしました。

本サイトでは、県や市町村が保有する自然・観光・文化等の映像を配信している他に、道路や地域のライブ映像を配信しており、特に週末や冬期間には多くの方からご覧いただいています。

今後は、ニーズに応じたコンテンツの発掘を行い、より多くの方に閲覧いただけるよう、サイトの充実を図りたいと考えています。



(問い合わせ先)

新潟県 IT&ITS 推進協議会 事務局 (新潟県総務管理部情報政策課)

TEL:025-280-5106 e-mail:ngt010090@pref.niigata.lg.jp